

5大特許庁（IP5）AI活用最前線 2026：審査の効率化と次世代への戦略

JPO（日本）— 段階的導入と生成AIの適用



生成AIによる審査支援の本格実証
3023年度確定アクション・プラン：
裕通環由連他審ドラフト作成支援
の実証（PoC）開始



先行技術調査の高度化プロセス
2024年「先行技術調査①」に続き、
2025年「先行技術調査②」
アジャイル開発移行



AIアドバイザーの導入
(2024年4月新設)
AI関連発明審査強化、
専門知識を持つ官制審査



審査官 + AI：
ハイブリッド審査の時代

USPTO（米国）— 出願人支援と責任あるAI



ASAP! パイロットプログラム
審査開始的にAI生成の先行技術調査
結果を出願人に提供、早期刊発支援

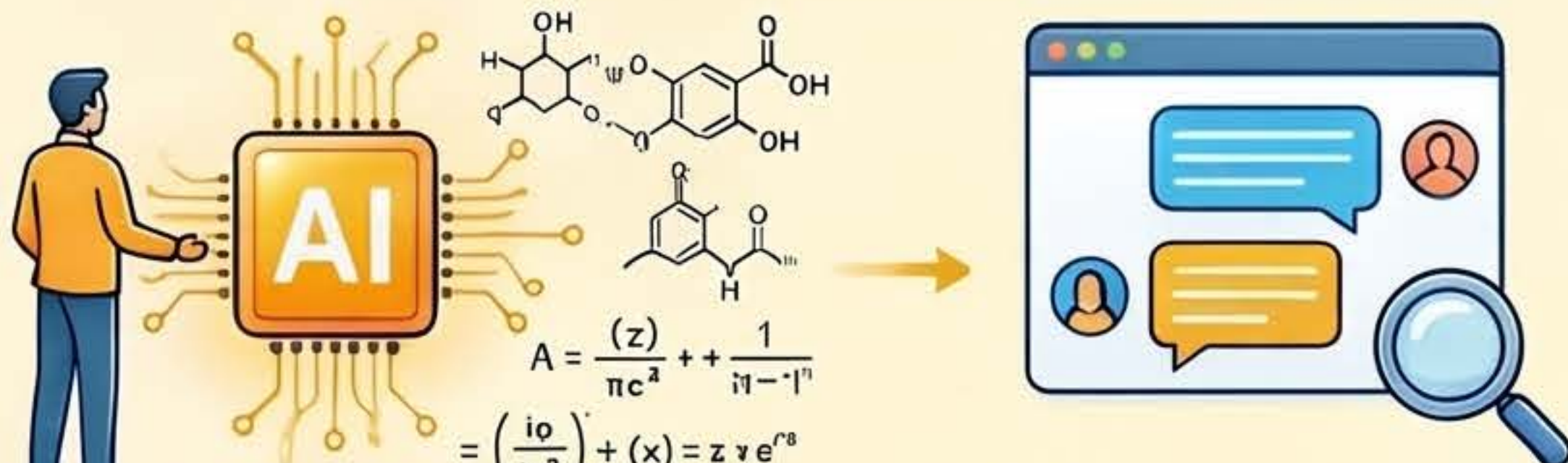


高捷分組時間を劇的短縮
(Class ACT, 2026年3月)
各分組速発出への
国分分組割り当て高速化



発明者は「自然人」という原則
(2025年11月ガイダンス)
AIはあくまでツール、人間が
発明者であることを明確化

EPO（欧州）— 欧州独自AIと法律情報の対話型検索



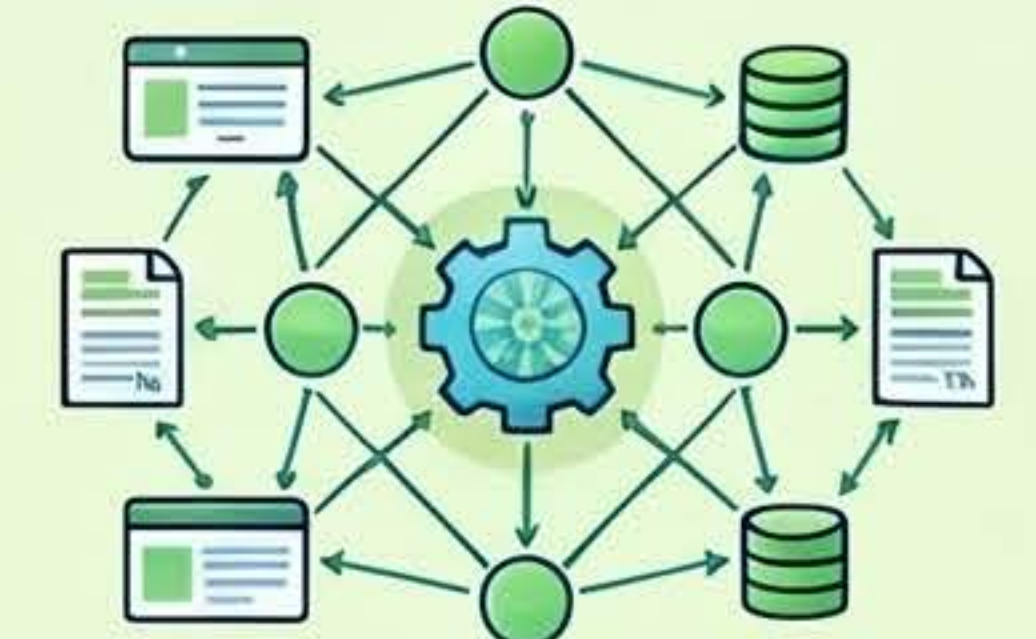
Mistral AIとの戦略的提携 (2026年3月)
複雑な特許文書のデータ処理能力を
OCR技術で大幅向上

生成AIチャットボット「LIP」
(2025年2月ローンチ)
特許マニュアル、規則、ガイドライン
を対話形式で検索

CNIPA（中国）— 統合システムと世界最速の審査



平均審査期間を15.5ヶ月に短縮
世界最速レベルの審査スピード、
2025年末15ヶ月目標

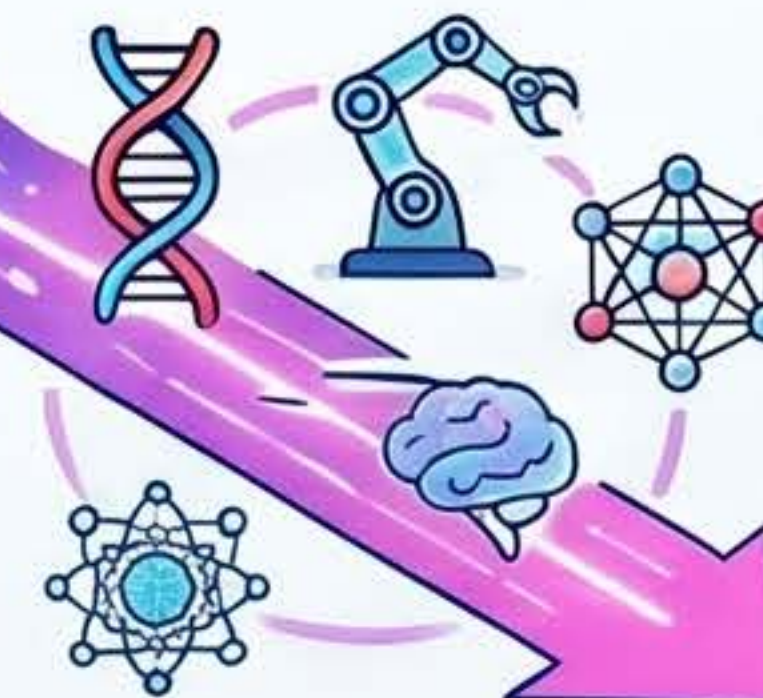


統合AIシステム「I System」の威力
(2023年本格適用)
セマンティック特許集約統合、
PCT出願先行技術関連し率25%削減

KIPO（韓国）— 特許専用ハイパースケールAI



特許専用AIモデル「EXAONE」
(LG AI Research提供)
1.78TB特許関連データ学習、
88億パラメータ特許特化型巨大AI開発



特定分野の優先審査を最短2ヶ月に
バイオ、AI、先端ロボット戦略分野、
AI支援で迅速な権利化支援